



共に築く未来への架け橋 みどりの南中

南中だより第12号

【本校の教育目標】

自立・探究・共生

令和6年度 翠輝学園

つくば市立みどりの南中学校

令和7年1月8日発行

残り3ヶ月、学校教育目標の達成に向けて

校長 ○○ ○○

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、新年を迎えた今、本校の学校教育目標である「自立・探究・共生」の達成に向けて、残り3ヶ月間をどのように過ごしていくか、改めて考えてみたいと思います。

「自立」自ら考え、行動し、責任を持つこと。生徒一人ひとりが、自分の力で課題を解決し、成長していくことを目指します。

「探究」知的好奇心を刺激し、自ら学び、探究する姿勢を育みます。様々な体験を通して、問いを立て、答えを見つける力を養います。

「共生」多様な価値観を認め合い、互いに尊重し合いながら、共に生きていく力を育みます。

これらの目標を達成するために、教職員一同、生徒一人ひとりの個性や成長段階に合わせた指導を心掛け、学習活動や行事を通して、生徒たちの成長を支援していきます。

【生徒の皆さんへ】

新しい年、新しい自分に出会うことができる一年にしていきたいと思います。目標に向かって、仲間と協力し、最後までやり抜く力、そして、どんな困難にも立ち向かう勇気を持ち続けましょう。残り3ヶ月、学校教育目標達成に向けて、教職員一同、生徒の皆さんと共に歩んでいきます。一緒に素晴らしい一年にしていきたいと思います！

県学力診断テスト(1/16、17)について

令和6年度の「茨城県学力診断のためのテスト」が今月実施されます。このテストは、生徒の皆さんの学力を客観的に把握し、今後の学習指導に役立てるための重要な機会です。そこで、学力診断テストの「1. 意義」と「2. 重要性」について確認しましょう。

1. テストの意義

(1) 学力の現状把握

このテストは、生徒一人ひとりの学力の現状を正確に把握するためのものです。これにより、得意な分野や課題となる分野を明確にし、**個々の学習計画**を立てる際の参考にします。

(2) 指導方法の改善

テスト結果を分析することで、学校全体の指導方法やカリキュラムの改善点を見つけ出し、より効果的な教育を提供するための基盤とします。

(3) 生徒の自己評価

生徒自身が自分の学力を客観的に評価する機会となります。これにより、**学習意欲の向上**や**目標設定の明確化**につながります。

2. テストの重要性

(1) 将来の進路選択に向けて

学力診断の結果は、**将来の進路選択**において重要な指標となります。自分の得意分野や興味を見つける手助けとなり、**将来の目標設定**に役立てることができます。

(2) 学習のモチベーション向上

テストを通じて自分の成長を実感することができます。**努力の成果**を確認し、さらなる学習意欲を引き出すきっかけとなります。

保護者の皆様には、テストに向けてのご家庭でのサポートをお願い申し上げます。生徒の皆さんには、日頃の学習の成果を発揮できるよう、しっかりと準備をして臨んでください。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

「結果の評価」と「過程の評価」



「主体的に学習に取り組む態度」

評価を上げるためのポイント!

①目標設定

具体的な学習目標を設定し、達成するための計画を立てる。

②質問

わからないことは積極的に質問し、理解を深める。

③グループ学習

仲間と協力して学習することで、より深く理解することができる。

④振り返り

学習の終わりに、今日学んだことを振り返り、次に繋げる。

⑤自主学習

学校の授業だけでなく、自宅でも自主学習を行う。

⑥読書

教科書だけでなく、様々な本を読んで知識を広げる。

冬休み前全校集会の校長講話では、「大切なのは『できた』ということだけ? ~評価の二つの側面~」というタイトルで、評価についてお話ししました。

1つは「結果の評価」と2つ目は「過程の評価」です。さらに、通知表の「主体的に学習に取り組む態度」の大切さについても、お話ししました。

上の表が、「主体的に学習に取り組む態度」を向上させるためのポイントです。大切なのは、過去の自分を超越すること。「自分ってすごい!」って思えるように、この考え方を活かして、どんどん成長していこう。

コミュニティ・スクール導入へ②

前回よりお伝えしている、次年度に迫ったコミュニティ・スクールの導入について、今号ではコミュニティ・スクール設置のメリットについて紹介していきたいと思ひます。

【コミュニティ・スクールのメリットについて】

○学校長や教職員の異動があっても、コミュニティ・スクール内に設置される学校運営協議会によって地域との組織的な連携、協働体制がそのまま継続できるようになり、持続可能な仕組みが維持できるようになります。

○上記の学校運営協議会の協議を通して、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかというビジョンを互いに共有できるようになります。

○子供たち・学校・地域のそれぞれが抱える悩みや課題に対して、コミュニティ・スクール関係者が、みな当事者意識をもち役割分担をもって、連携・協働による取組ができるようになります。

キャリア教育 ~あなたの未来への羅針盤~

進路指導担当より

○7年生の皆さんへ:「皆さんは将来どんな大人になりたいですか?」まだ漠然としている人もいるかもしれませんが、でも、中学校の3年間は、将来の自分を考える上でとても大切な時期です。

【今、7年生の皆さんにやってほしいこと】

将来の夢はまだなくても大丈夫。まずは、色々なことに興味を持って、自分自身を知ることから始めましょう。

○8年生の皆さんへ:8年生になると、勉強や部活動が本格化してきます。先輩から教わったり、後輩を指導したりする経験を通して、責任感やリーダーシップを育てていきましょう。

【今、8年生の皆さんにやってほしいこと】

将来、どんな仕事につきたいのか、漠然としたイメージでも構いません。高校や職業に関する情報を集め、自分に合った進路を探しましょう。将来の夢に向かって一歩ずつ進んでいきましょう。

○9年生の皆さんへ:高校入試を控えた9年生ですね。進路決定に向けて、焦る気持ちもあるかもしれませんが、焦らず計画的に自分のペースで確実に進めていきましょう。

【今、9年生の皆さんにやってほしいこと】

今、大切なのは、目標に向かって最後までやり抜くことです。高校入試に向けて、体調管理をしっかりすること。最後まであきらめずに努力すること。苦手な科目を克服したり、得意科目をさらに伸ばしたりするなど、自分の目標に向かって努力しましょう。